

## 解答

一

- (2) (1) エ 休み時間の廊下は、学校内であり打ち解けて話ができる場所なので、担任と気軽に話すことができるが、放課後、道で出会ったときは、世間の目があるので、敬語を使って話すほうが良いと思うから。

二

- (2) (1) イ (A) イ  
(B) 一歩下がっ
- (3) エ  
(4) ア  
(5) ウ  
(6) ウ  
(7) ア  
(8) 余計

三

- (3) (2) (1) ウ イ  
(A) イ  
(B) はじめ…自分のほう / おわり…ようになる
- (4) ウ  
(5) お母さんが望むことをしているのかどうか  
(6) ウ

## 解説

二

- (3) 本文から、バスに乗る前には見事な夕焼けだったが、バスを見送ったあとに暗くなっていることがわかります。――線部③の前後には、時間によって姿を変えた山に気づき、怖くなった歩の様子が描かれていることから、「時間の経過に気づき、自分の置かれた状況を自覚した」という記述を含む選択肢エが選べます。
- (7) ―線部⑧の前に着目します。きつい状況でも、他人の手伝いを必要としない南原さんの佇まいを見て、自分の肉体だけで戦う人の、あるべき姿だと思ったことから、「つらいことがあっても一人で立ち向かえる強さを持った選手になろう」という記述を含む、選択肢ウが選べます。

三

- (1) ―線部①の次の段落に着目します。生後四か月になると、赤ちゃんは視線が合っている顔を好むので、一度目が合ってしまうと、しげしげと注目され続けてしまうという内容から、選択肢イが適当であるとわかります。
- (4) ―線部④の後には、赤ちゃんとお母さんの行動を丁寧に観察した研究から、わかったことが説明されています。お母さんは子育てしていくうちにお母さんになっていきます。そのため、赤ちゃんの視線をうまく受け取ることができないと、息が合うきっかけを失う可能性があり、子育ての疲れや、孤立した環境などが問題になっています。子育てには周囲の環境が大切であることがわかるので、最も適当なものとして選択肢ウが選べます。